
第1回 新現役復興支援交流会の開催について

(取引先企業の本業支援に向けた取組施策)

平成28年11月



目 次

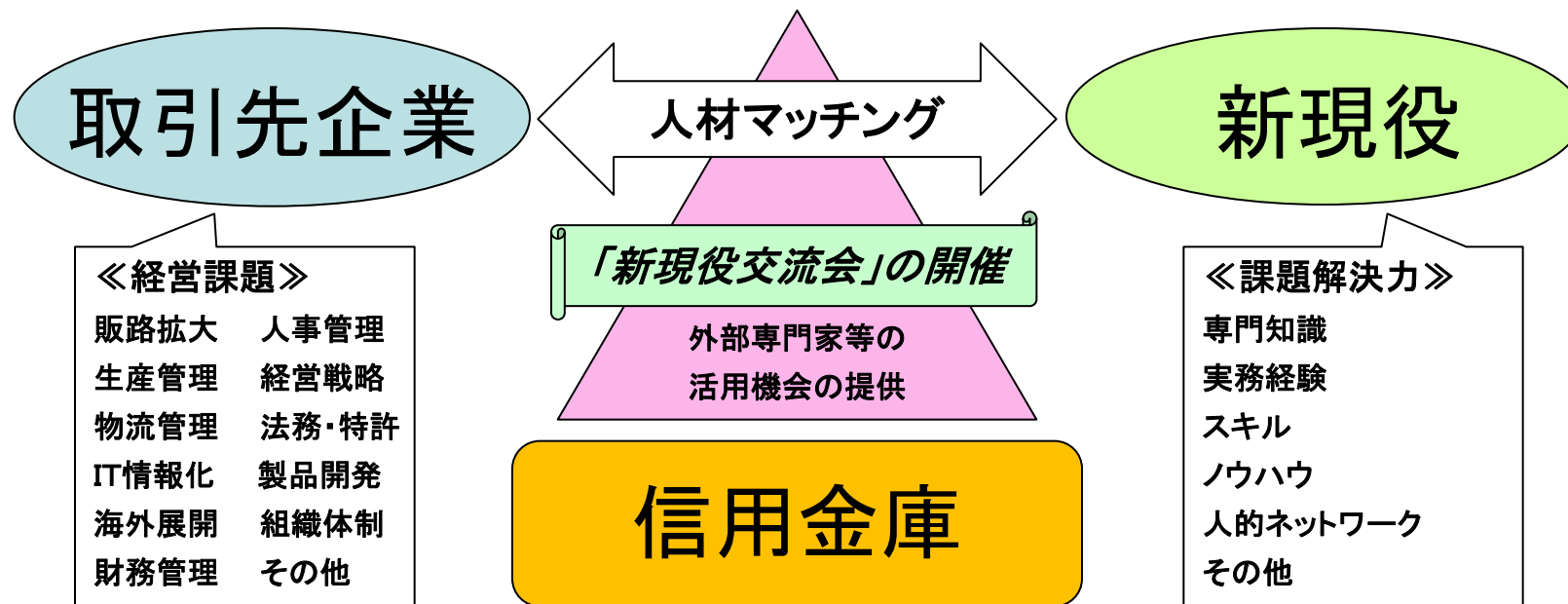
| | | |
|---------------|---|---|
| 1. 新現役交流会について | … | 1 |
| 2. 開催準備 | … | 2 |
| 3. 開催概要 | … | 3 |
| 4. 開催結果 | … | 5 |
| 5. 課題 | … | 6 |
| 6. 評価等 | … | 7 |
| 7. その他本業支援 | … | 8 |

1. 新現役交流会について

■ 平成21年度から信用金庫業界で広がった「人材マッチング支援施策」

新現役交流会とは、「取引先企業」の経営課題の解決に向けて、「新現役」と呼ばれる企業OB等の知識・スキル・ノウハウ等の活用を目的とした人材マッチングを実施する支援施策となります。

参加企業が、複数の新現役と面談し、相性の良い支援者を選択することになるため、マッチング率が高く、支援内容の満足度も高い本業支援策として、関東地区の信用金庫を中心に実施が広がりました。



【新現役とは】

新現役とは、主に大企業等の退職者および退職を控える経験豊かな50歳代後半以降の人材を指すと言われています。

新現役が有する豊富な実務経験、専門知識および人的ネットワークを中小企業の課題解決に活用するため、関東経済産業局では、「マネジメントメンター制度」を創設のうえ、関東地区の人材データベース整備を行ってきたことにより、関東地区を中心とした信用金庫で実施が広がりました。

2. 開催準備

■ 初開催に要した準備期間は約5か月

- ① 「新現役交流会」の情報収集および開催実施の検討（平成28年4月上旬頃）
 - 信金中央金庫 復興支援対応室 の情報提供と協力を受け、当金庫での開催実施を検討。
- ② 「新現役アドバイザー」の選定（平成28年4月下旬頃）
 - 新現役アドバイザーは、取引先企業の支援ニーズ整理等を含め、交流会開催にかかる全般をサポートする役割。特に初開催の場合は、同アドバイザーの存在が、交流会開催の成否を握る鍵となる。
- ③ 「参加企業」の選定（平成28年5～6月頃）
 - 経営課題を抱えた取引先企業の抽出および交流会への参加勧奨。参加希望を表明した取引先企業から参加企業5社を選定。
- ④ 「支援ニーズ等」の整理（平成28年7月下旬頃）
 - 参加企業に対するヒアリング調査を実施。新現役アドバイザーと同行訪問のうえ、参加企業が抱える経営課題を踏まえた支援ニーズ等を整理。
- ⑤ 「新現役」への交流会開催の案内（平成28年8月中旬頃）
 - 交流会開催および支援ニーズ等の案内。当金庫の依頼に基づき、関東経済産業局から、同局および(株)クオリティ・オブ・ライフの人材データベースに登録されている約2,500名の新現役・専門家に案内。
- ⑥ 「新現役」への出席依頼の案内（平成28年8月下旬頃）
 - 出席希望の新現役から、面談コマ数に合わせた人数調整を行ったうえ、出席依頼を案内。

3-1. 開催概要

■ 第1回 新現役復興支援交流会の開催

当金庫は、取引先の本業支援だけではなく、被災地域にある中小企業を元気にすることで、被災地域の復興・創生にも寄与したいとの願いから、事業名を「新現役復興支援交流会」としたうえで、以下の通り、交流会を開催いたしました。

日 時：平成28年8月30日（火） 13：30～17：00

場 所：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

参加者：参加企業5社（製造業3社、縫製業1社、印刷業1社）

新現役12名（延べ面談人数17名）

商談企業1社（東栄信用金庫の取引先）

主 催：あぶくま信用金庫

共 催：関東経済産業局

後 援：復興庁、福島相双復興官民合同チーム、信金中央金庫

協 賛：メットライフ財団、特定非営利活動法人ポジティブプラネットジャパン

【開催内容】

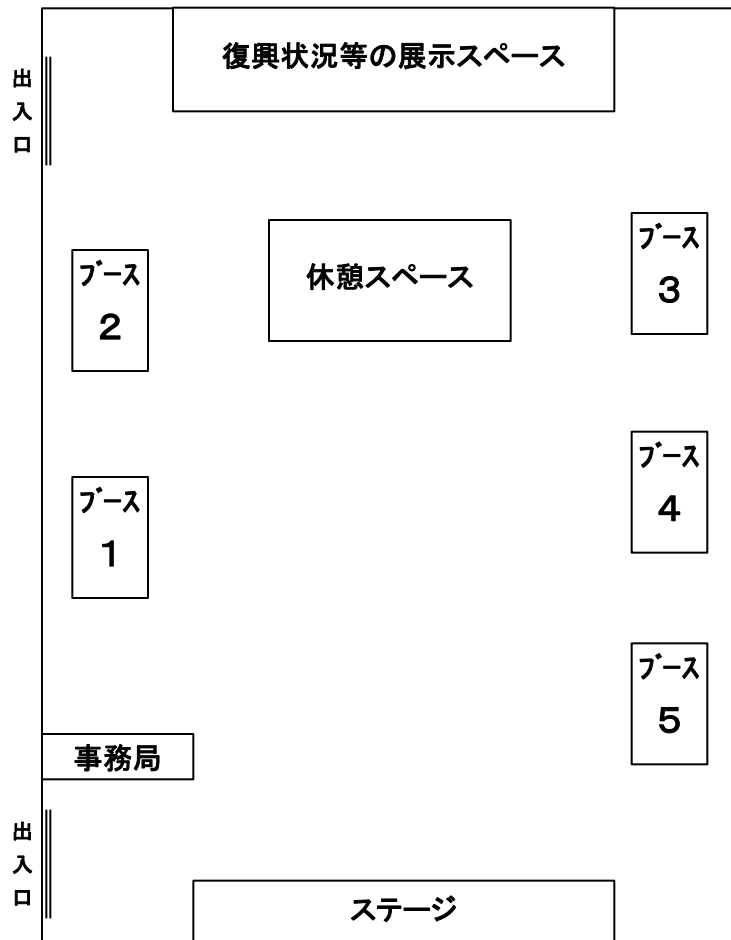
- ・参加企業1社に対し、最大5名の新現役が人材マッチングを目的とした面談を実施
- ・面談は、新現役1人あたり30分で、支援ニーズおよび支援内容等を相互に確認
- ・交流会終了後、当金庫が両者の支援希望を確認し、支援希望が合致したら、支援実施に向けた調整を開始
- ・併せて、東栄信用金庫から紹介があった企業との商談を1件実施

※ なお、継続的なフォローを実施するため、面談および商談に際し、各ブースに当金庫職員が同席

3-2. 開催概要

■ 新現役復興支援交流会の様子

○ 会場のイメージ



【開会式の様子】



【面談の様子】



4. 開催結果

■ 結果⇒参加企業5社とも支援希望が合致し、商談も1件成立

当金庫は、支援希望が合致した5社に対し、実際の支援開始に向けた調整作業を開始しています。参加企業5社のうち2社は、複数の新現役からの支援を希望されています。

- ① 製造業 A社：面談 3名 ⇒ 2名と調整中《販路拡大・技術支援》
- ② 製造業 B社：面談 3名 ⇒ 1名と調整中《販路拡大》
- ③ 製造業 C社：面談 5名 ⇒ 1名と調整中《ISO取得》
- ④ 縫製業 D社：面談 2名 ⇒ 1名と調整中《販路拡大》
商談 1社 ⇒ 商談成立
- ⑤ 印刷業 E社：面談 4名 ⇒ 二次面談の調整中《販路拡大・生産管理等》

【調整作業と謝金等について】

- ・ 支援実施に対する新現役への謝金および交通費等は、ミラサポ「専門家派遣事業」を利用するため、当金庫が、地元商工会議所等と連携のうえ、申請手続きに必要な支援日程等の調整作業を実施しています。
- ・ ミラサポは、1社あたり年3回(3日)までの利用上限があるため、これを超える場合は、受益者となる企業が謝金等の費用を負担する仕組みとしています。

5. 課題

■ 開催検討の課題

① 人材データベース

課題: 東北地区に新現役等の人材DBがない

- ⇒ 当初は、(株)クオリティ・オブ・ライフが運営する人材DB(登録800名程度)の利用で検討を始めました。
- ⇒ 関東経済産業局が運営する人材DB(登録2,300名程度)は、関東地区以外での利用は原則不可でしたが、被災地の復興支援に貢献できることを理由として、平成28年度の利用が特別に認められました。
- ⇒ 共に首都圏の新現役が中心の人材DBとなるため、東北地区での新現役の人材DBがない状況となっています。

② 開催地

課題: 地元(南相馬市(本店所在地)および東北地区)での開催が難しい

- ⇒ 新現役は、首都圏に集中しており、移動時間や交通費等の大きな負担を勘案すると、地元開催が困難でした。
- このため、東京開催としましたが、費用や移動手段の関係等から、参加企業数を5社に絞らざるを得ませんでした。

③ 開催費用

課題: 東京開催のため、地元開催に比べて、開催費用が高い

- ⇒ 東京開催のため、会場費やバスチャーター料等の遠征費がかかり、地元開催に比べて、開催費用が高くなりました。
- 開催費用は、約80万円となりましたが、当金庫経費のほか、メットライフ財団様および特定非営利活動法人ポジティブプラネットジャパン様の協力により、「メットライフ復興事業みらい基金」を活用して、手当てしました。

④ ミラサポ利用

課題: 当金庫が派遣可能機関ではないため、ミラサポ「専門家派遣事業」の利用が難しい

- ⇒ 派遣可能機関である地元の商工会議所および商工会に連携協力を要請のうえ、参加企業がミラサポを利用して支援を受けられるように、調整を実施しました。

6. 評価等

■ 評価⇒「結果」および「成功点」が、「失敗点」を上回るとの自己評価

◎ 成功点（良かった点）

① マッチング率が高かったこと

➢ マッチング率は100%となり、商談も1件成立しました。

② 参加企業からの反応が好評だったこと

➢ 参加企業の感想

- ・ 自社では気づかない部分を気づかされて参考になった。／
- ・ 新製造方法、新用途の提案があり有意義だった。／
- ・ 支援して欲しい人材が複数いた。／ 等々

③ 参加企業の踏み込んだ経営課題を把握できたこと

- 普段の営業活動では把握できなかった一段踏み込んだ取引先企業の悩みを把握することができました。
- 経営課題の事前整理やヒアリング活動を通じて、当金庫職員の課題把握能力の向上が図れました。

④ 外部機関等の協力が頂けたこと

- 信金中金、亀有信用金庫、東栄信用金庫、関東経済産業局、㈱クオリティオブライフ、復興庁、福島相双復興官民合同チーム、メットライフ財団、NPO法人ポジティブプラネットジャパン、商工会議所等の皆様のご協力により開催することができました。

◎ 失敗点（悪かった点）

① 面談時間が短すぎるとの声があったこと

➢ 反省点として、次回開催があれば改善を図りたいと考えています。

■ 今後の取組の方向性

☆ 金融機関では対応が難しい外部専門家の知見を活用した本業支援策として、有効な手段であると考え、可能な限り、継続実施する方向で取組んでいくこととしています。

7. その他本業支援

■ 平成28年度の主な取組み（平成28年10月末現在）

① 「(株)ゆめサポート南相馬」と連携した経営改善支援

- 南相馬市の第三セクターである(株)ゆめサポート南相馬と連携し、中小企業診断士等の外部専門家を活用した経営改善支援等を実施しています。
 - ・ 支援件数： 3件

② 信用金庫ネットワークを活用した販路拡大支援

- 信用金庫業界で開催する各種ビジネスフェア等への出展サポートにより、販路拡大に向けた支援を実施しています。
 - ・ 「2016“よい仕事おこし”フェア(東京国際フォーラム／城南信用金庫)」：参加企業3社
 - ・ 「ビジネスマッチング東北2016(夢メッセみやぎ／東北地区信用金庫協会)」：参加企業5社予定

③ 「メットライフ財団復興事業みらい基金」を活用した支援

- メットライフ財団およびNPO法人ポジティブプラネットジャパンと共同で、「メットライフ財団復興事業みらい基金」を創設し、利子補給付融資商品のほか、下記の助成事業による支援を実施しています。
 - ・ 新規事業創出：10件
 - ・ 事業展開支援：2件

④ 「公益財団法人三菱商事復興支援財団」と連携した支援

- 三菱商事復興支援財団と連携し、同財団の産業復興・雇用創出支援事業を活用のうえ、被災地で復興事業に取り組んでいる事業者の支援を実施しています。
 - ・ 支援件数： 2件